

平成 30 年度第 5 回青森市子ども会議開催概要

- 1 日時 平成 30 年 9 月 29 日（土） 9 時 30 分～12 時 30 分
- 2 場所 青森市総合福祉センター2 階 集会室
- 3 出席者 子ども会議委員 15 名（欠席者 14）
事務局 3 名
- 4 活動内容 ・子ども会議フォーラム 2018 について
・「あおもり海道そば」の現地調査

5 開催概要

今日の子ども会議は、子ども会議フォーラムに向けいろいろなことを決めていく作業のほか、「青森の食・特産品」グループは「あおもり海道そば」を取材するため、JA 奥内の低温倉庫を訪ね、担当者の方から直接話を聞きました。

JA 東支店部長の藤田さんから「あおもり海道そば」についての説明がありました。

そばの実は、県南地域で栽培されているイメージですが、東青地区でも栽培が盛んに行われており、そのことを知ってもらうために、陸奥湾の海沿いで生産するそばを「あおもり海道そば」としてブランド化したそうです。そばの品種は「キタワセソバ」という北海道原産のもので、農薬を使用しない安全・安心で環境にやさしい栽培に取り組んでいるそうです。栽培は水の管理が難しく、1 反歩(300 坪)あたり 7～8kg の種を蒔くと収穫量は 15～30kg 程度と多くないため、収穫量をもっと上がれば生産者の方の作付意欲も上がりそばの生産量も増えると思うと話していました。



「あおもり海道そば」を食べることができる店は市内に 6 店舗あり、「あおもり海道そば」のパンフレットで紹介しています。また、毎年 10 月下旬から 11 月上旬に「あおもり海道そば 新そば&秋まつり」を開催し、PRを行っているそうです。「あおもり海道そば」を広めるため、県外や首都圏等への販売促進活動にも参加したいのですが、生産者の方が皆忙しくなかなか活動ができないとのことでした。

このほかにも、「あおもり海道そば」のおいしい食べ方やそば粉を使ったスイーツのことなど、たくさんのことを教えてもらいました。取材後、JA 奥内低温倉庫近くのそば畑を見学し、総合福祉センターに戻りました。



次に子ども会議フォーラムの打ち合わせです。今日は、フォーラムも近づいているので、具体的な質問内容を考えました。「子どもの運動場所」グループは、運動イベントが10月14日と近づいているので、その日程確認や準備をしました。

「まちづくり」グループは、調査した喫茶店などの情報をまとめ、パンフレットはどんなイメージで作ればいいのかなどを話し合っていました。



また、今日は子ども会議フォーラム第二部の劇の脚本案ができたので、みんなでチェックしました。人形劇については前回、「我々はなぜ勉強するのか」というタイトルにしたのですが、子どもの権利に関連させるのが難しいので、「なぜ勉強するのか」というところから、「なぜ学校が必要なのか」という流れで不登校の関係に変更したいとの話が出ました。

今回の話し合いで「学校にいけないのは、ダメなこと？
～大人と私と不登校と～」というタイトルになりました。

最後には、広報あおもりに掲載する写真を撮りました。最初は照れている様子も見られましたが、時間が経つにつれて慣れてきたようで、いい写真が撮れました。

これで今回の会議は終了です。次回は「子どもの運動場所」グループの運動イベントを荒川市民センターで実施の予定です。

